

令和6年
第1回
評議員会会議録

3月26日(火)

国立市土地開発公社

令和6年 第1回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和6年3月26日(火)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名

会長 青木 健
石井 伸之
関口 博
古濱 薫
矢部 新

副会長 香西 貴弘
遠藤 直弘
中谷 絢子
山口 智之
石井 めぐみ

(2) 理事 8名

理事長 竹内 光博
出納理事 宮崎 宏一
理事 藤崎 秀明
理事 黒澤 重徳

副理事長 雨宮 和人
常務理事 北村 敦
理事 大川 潤一
理事 中島 広幸

(3) 事務局 3名

事務局長 立川 浩平
庶務係員 長谷野 良平

庶務係長 君島 正洋

4. 議題

協議事項1 令和5年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案
協議事項2 令和6年度国立市土地開発公社事業計画案
協議事項3 令和6年度国立市土地開発公社予算案

5. 会議時間 開会 午前10時00分
閉会 午前10時20分

議長 (青木健君)

おはようございます。

本日はお足元の悪い中、また第1回定例会終了直後になりますが、国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。評議員の皆様におかれましては、季節の変わり目ということもありますので、お体に十分ご留意くださいますよう、お願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年第1回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。
会長において、「関口評議員」と「山口評議員」の両名を指名することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、関口評議員と山口評議員の両名を指名いたします。

日程第2「会期の決定について」を議題といたします。
会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第3「理事長あいさつ」でございます。理事長、よろしくお願いいたします。

理事長 (竹内光博君)

おはようございます。

本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日ご協議いただきますのは、国立市土地開発公社の令和５年度補正予算案、令和６年度事業計画案及び予算案でございます。

まず、令和５年度予算におきましては、不用額の減額補正を提案させていただきます。

また、令和６年度事業計画案及び予算案につきましては、保有用地の管理に係る費用等を計上させていただきます。

以上、協議事項の概要を申し上げましたが、詳しい内容につきましては、事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

議 長 (青 木 健 君)

ありがとうございました。

それでは、日程第４ 議題に入ります。なお、議事の進行上、協議事項２及び協議事項３を一括議題とすることにご異議ありませんか。

「（異議なし）との声あり。」

ご異議なしと認め、協議事項２及び協議事項３を一括議題とします。協議事項１「令和５年度国立市土地開発公社補正予算（第１号）案」を議題といたします。

当局から、説明を求めます。事務局長。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

それでは、協議事項１ 令和５年度国立市土地開発公社補正予算（第１号）案について、説明させていただきます。

１ページの第２条、収益的支出予算の補正でございますが、４９万

6千円を減額し、予算の総額を2千765万4千円とするものでございます。第3条、資本的支出予算の補正でございますが、106万2千円を減額し、予算の総額を3千28万円とするものでございます。

2ページの第1表及び3ページの第2表におきまして、支出の内訳をお示ししておりますが、詳細につきまして、7ページからの補正明細書で説明いたします。

7ページの収益的支出ですが、決算見込みによりまして、款1事業原価で18万2千円減額、款2販売費および一般管理費で21万4千円減額、および款4予備費で10万円を減額してございます。支出合計といたしまして、49万6千円減額、補正後の予算額2千765万4千円としてございます。

次に、8ページの資本的支出ですが、決算見込みによりまして、項2事業管理費で6万2千円減額、および項5予備費で100万円を減額しております。支出合計といたしまして、106万2千円減額、補正後の予算額3千28万円としてございます。

次に、9ページの令和5年度国立市土地開発公社資金計画変更でございますが、予算の補正に伴い資金計画を変更したもので、変更後の金額は受入資金が4千326万円、支払資金が3千56万7千円となり、差し引き1千269万3千円を、令和6年度への予定繰越金とするものでございます。

10ページの令和5年度国立市土地開発公社予定損益計算書でございます。1の事業収益から2の事業原価を差し引いた額が事業総利益となり、事業総利益から3の販売費及び一般管理費を差し引いた額が事業損失の22万6千円となります。この事業損失に4の事業外収益を加え、5の事業外費用を差し引いた額が、経常損失の22万3千円となり、これが当期純損失22万3千円となるものでございます。

最後に、11ページの令和5年度国立市土地開発公社予定貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でございますが、1の流動資産は現金及び預金と公有用地で、合計2億5千530万4千円としてございます。2の固定資産は、投資その他の資産で、合計800万円でございます。最終行の資産合計は、2億6千330万4千円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、長期借入金により、

合計2億4千260万円としてございます。

表右側の下段、純資産の部でございますが、資本財産800万円と準備金合計1千270万4千円の合計で、2千70万4千円としてございます。

表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の、2億6千330万4千円となるものでございます。

令和5年度国立市土地開発公社補正予算（第1号）案の説明は以上となります。

よろしくご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長（青木健君）

説明が終わりました。

それでは、ご質疑、ご意見をうけたまわります。

なければ、これで協議事項1については終了することとし、引き続き協議事項2「令和6年度国立市土地開発公社事業計画案」及び協議事項3「令和6年度国立市土地開発公社予算案」を議題といたします。

それでは、説明を求めます。事務局長。

事務局長（立川浩平君）

まず、協議事項2 令和6年度国立市土地開発公社事業計画案をご説明いたします。

1ページの国立市土地開発公社とSDGsとの関係でございます。2015年に、持続可能な開発目標が国連サミットで採択され、17の目標が定められました。この17の目標を、「人間」「豊かさ」「地球」「平和」「パートナーシップ」の5つのキーワードに分類し、公社の事業にかかわりのある目標を1項目ずつイメージ図に示しております。

3ページ、用地取得事業は、保有土地の管理事業費として12万円を計上してございます。

以上が、協議事項2の事業計画案でございます。

続きまして、協議事項3、令和6年度国立市土地開発公社予算案について、説明させていただきます。

1 ページ、第 2 条、収益的収入及び支出の予算額は、収入合計を 3 千円、支出合計を 7 2 万 6 千円とするものでございます。

2 ページ、第 3 条、資本的収入及び支出の予算額は、収入合計を 0 円、支出合計を 1 0 0 万円とするものでございます。

予算の詳細につきましては、5 ページからの予算説明書で説明いたします。5 ページ、収益的収入の款 2 事業外収益は、受取利息と雑収益を見込み、3 千円を計上しております。

6 ページ、収益的支出の、款 1 事業原価は、需用費などの経費といたしまして 1 2 万円を計上し、7 ページの款 2 販売費及び一般管理費は、監事及び評議員の報酬として 3 9 万 8 千円、需用費等の経費として 1 0 万 8 千円の、5 0 万 6 千円を計上しており、款 4 予備費を含めた、支出合計を 7 2 万 6 千円としてございます。

次に、8 ページの資本的収入は、0 円とし、9 ページの資本的支出は、項 5 予備費で、支出合計を 1 0 0 万円としてございます。

次に、1 0 ページの令和 6 年度国立市土地開発公社資金計画でありますが、受入資金を 1 千 2 6 9 万 6 千円、支払資金を 1 7 2 万 6 千円とし、差引額を 1 千 9 7 万円としてございます。

次に、1 1 ページの令和 6 年度国立市土地開発公社予定損益計算書でございます。1 の事業収益から 2 の事業原価を差し引いた額が事業総損失となり、事業総損失から 3 の販売費及び一般管理費を差し引いた額が事業損失の 6 2 万 6 千円となります。

この事業損失に 4 の事業外収益を加え、5 の事業外費用を差し引いた額が、経常損失の 6 2 万 3 千円となり、経常損失から 6 の予備費を差し引いた額が、当期純損失で 7 2 万 3 千円となるものでございます。

最後に、1 2 ページの令和 6 年度国立市土地開発公社予定貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でありますが、1 の流動資産は現金及び預金と公有用地で、合計 2 億 5 千 4 5 8 万 1 千円としてございます。2 の固定資産は、投資その他の資産で合計 8 0 0 万円でございます。最終行の資産合計は、2 億 6 千 2 5 8 万 1 千円となるものでございます。次に、表右側の上段、負債の部でありますが、長期借入金により、合計 2 億 4 千 2 6 0 万円としてございます。表右側の下段、純資産の部でありますが、資本財産 8 0 0 万円と準備金

合計1千198万1千円の合計で、1千998万1千円としてございます。表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の2億6千258万1千円となるものでございます。

令和6年度国立市土地開発公社予算案の説明は以上となります。

なお、協議事項に関する説明資料といたしまして、「令和5年度末」および「令和6年度末」予定の「公有用地明細表」をあわせて提出しております。協議事項2及び3につきまして、よろしくご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長 (青木健君)

説明が終わりました。

それでは、協議事項2、協議事項3について一括して、ご質疑、ご意見をうけたまわります。

評議員 (関口博君)

事業計画書の1ページSDGsとの関係ですが、公社における16「Peace（平和）」はどういう意味合いがあるのでしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

ゴール16「平和と公正をすべてのひとに」というところでございますが、こちらの説明といたしましては、持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築するというゴールでございます。これに対して国立市土地開発公社におきましては、用地取得事業における法令にのっとり一連の手続き、あるいは、取得した用地の適正な管理、公正な土地売買、補償というところがかかわりがあると考えております。

評議員 (関口博君)

ちょっとまだ理解ができないかなというところですが、説明はいただきましたということで、この件は終わります。

事業計画書の3ページ、事業名用地取得等の事業費12万円、都市計画道路3・4・8号線用地というのは実際の金額ですか。

事務局 長

(立 川 浩 平 君)

こちらは、現在保有している都市計画道路 3・4・8 号線用地の管理にかかる必要経費の予算でございまして、必要があればこの予算を使用させていただきます。例えば、植栽の維持管理、ロープや木杭の補修、防草シートの張替え等でございますが、過去数年特に必要が生じたことはございませんので、執行はなかったという経過がございます。

評 議 員

(関 口 博 君)

管理の事業費ということで、用地の取得とは関係ないということですね。

事務局 長

(立 川 浩 平 君)

用地の取得にかかる予算ではございません。

評 議 員

(関 口 博 君)

今回、土地の取得は事業計画に入っていないということですね。
また、都市計画道路 3・3・15 号線の延伸について、国立市から相談を受けていて、言えることがあれば教えてください。

事務局 長

(立 川 浩 平 君)

現時点で国立市から先行取得の依頼、協議等は受けておりませんので、用地取得にかかる予算を計上しておりません。今おっしゃっていただいた都市計画道路 3・3・15 号線も含めて同じ状況でございます。

評 議 員

(遠 藤 直 弘 君)

J R 南武線連続立体交差にかかる南側の道路について、事業計画書がなく、現在計画等もないので国立市土地開発公社に何か相談がくるということはないとは思いますが、国立市から相談はあるのでしょうか。

事務局 長

(立 川 浩 平 君)

そちらも含めまして、現時点で具体的な用地取得に関する相談は
ございません。

評 議 員 (遠 藤 直 弘 君)

例えば、都市計画道路の計画線にかかる売地が出そうだなという
ときにその対応について、国立市から相談というのはあるのでしょ
うか。

議 長 (青 木 健 君)

事務局長、議題外になっておりますので、一般論としてお答え
ください。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

国立市における道路拡幅事業の用地取得は、国立市が予算を計上
し用地費を執行していくというのが基本的な進め方でございます。
そのうえで、地権者のご事情等により迅速に用地取得の対応が必要
な場合に限って、国立市土地開発公社に相談、協議、依頼があるも
のでございます。今おっしゃっていただいた南武線南側の道路につ
いても国立市土地開発公社においては、今のところ特に動きはない
という状況でございます。

議 長 (青 木 健 君)

よろしいでしょうか。

では、ほかにございませんでしょうか。なければ、協議事項2およ
び協議事項3については、これで協議を終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、令和6年第1回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたし
ます。

お疲れ様でした。

午前10時20分閉会